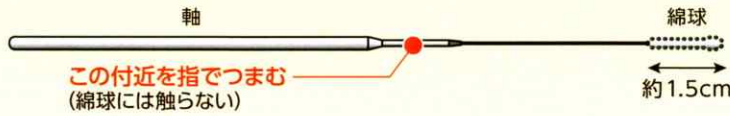


1 鼻腔用滅菌綿棒の綿球から約5~6cm付近を指でつまむと、より採取しやすくなります。



2 綿棒を鼻孔に挿入します。

- 綿棒を綿球全体が隠れる程度(約2cm)挿入します。
- 鼻腔内の粘膜を軽くこするようにして、そのままゆっくり綿棒を5回転させます。
- 5秒待ち綿球を十分に湿らせた後、他の部位に触れないよう取り出します。



マスクから鼻が出るようにずらします



注意点

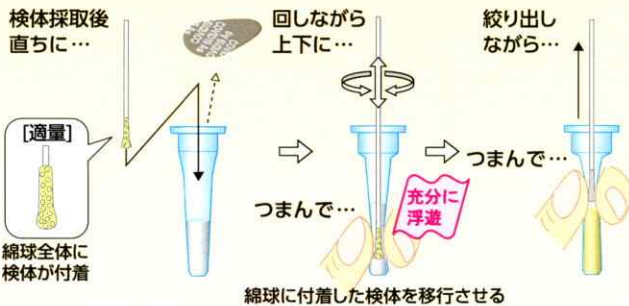
- 鼻腔検体については、医療従事者またはあらかじめ検査に関する研修を受けた職員の管理下で自己採取することができます。
- 綿球部分に触れないでください。また採取後は手指の消毒、手洗いをおこなってください。
- 採取部位は出血しやすいため、強くこすったり、無理に奥まで挿入しないでください。
- くしゃみをする場合には飛沫に注意してください。
- 異常を感じた際には、採取を中断し、すみやかに医師、医療スタッフにご相談ください。

監修：東邦大学 医学部 微生物・感染症学講座 教授 舘田 一博 先生

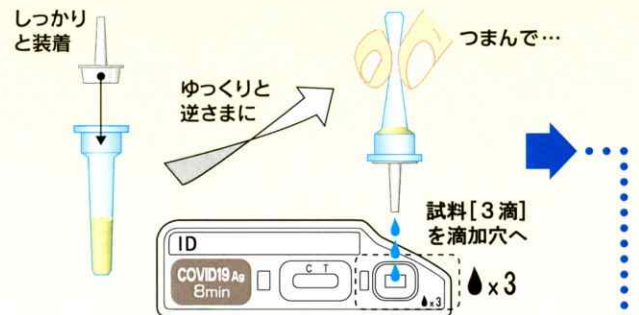
操作方法 クイックナビ™ - COVID19 Ag

ご使用の際は、添付文書をよくお読みください。

試料の調製

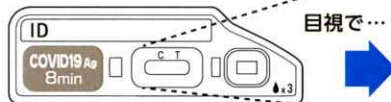


試料ろ過フィルター装着/試料の滴加



反応時間：~8分間

15~30℃
で静置
そのまま...



検査結果の判定：判定例



上記は判定例を模式的に表したものであり、実際の見え方とは異なります。

判定は、ラベル表記の時間(例 8min=8分)経過後、速やかに行います。8分以降の結果は本品の検査結果とはできません。



鼻腔ぬぐい液検体の採取および操作方法の動画は
こちらのQRコードを読み取りご覧下さい。

<https://www.otsuka.co.jp/how-to-use-quicknavi-covid19ag-8mins/>

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

操作上のポイントと
検査結果については、
裏面をご参照ください。

【操作上のポイント】

- ・試料調製の際、検体浮遊液内でチューブの上から綿球部をよく揉みほぐしてください。その後、綿球をつまみ、絞りながら綿棒を引き抜いてください。
- ・検体採取の際にウイルスが綿棒に充分量吸着しなかった場合、検体の懸濁又は浮遊が適切でなかった場合、検査が適切に行われなかった場合等で陰性となることがあります。

【判定図例】

判定部写真		
判定	陽性	陰性
備考	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):赤色	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):ラインなし
判定部写真		
判定	判定保留	
備考	C(コントロールライン):ラインなし T(テストライン):赤色	C(コントロールライン):青色 T(テストライン):灰色

【重要な基本的注意】

1. 本品の判定が陰性であっても、SARS-CoV*1-2感染を否定するものではありません。
2. 検査に用いる検体については、厚生労働省より公表されている「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）病原体検査の指針」を参照してください。
3. 診断は厚生労働省より発表されている医療機関・検査機関向けの最新情報を参照し、本製品による検査結果のみで行わず、臨床症状も含めて総合的に判断してください。
4. 鼻腔ぬぐい液を検体とした場合、鼻咽頭ぬぐい液に比べ検出感度が低い傾向が認められているため、検体の採取に際して留意してください。
5. 検体採取及び取扱いについては、必要なバイオハザード対策を講じてください。

*1:CoV;コロナウイルス